

千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略 (原案)

令和4年12月23日

目次

第1章 基本的な考え方

策定趣旨・ねらい	・・・P1
位置付け	・・・P2
戦略期間	・・・P2
本戦略を共有する主体 (プレイヤー)	・・・P3
	・・・P3

第2章 背景・課題

デジタルの浸透と 新たな社会「Society 5.0」	・・・P4
デジタルの可能性	・・・P5
本県を取り巻く環境の変化と課題	・・・P6
国のデジタル政策	・・・P7

第3章 目指す姿

D X 推進により目指す姿	・・・P8
D X 推進により目指す姿の具体像 「暮らし」「仕事・生きがい」「産業」「行政」	・・・P9

第4章 目指す姿の実現に向けた取組

実現に向けた県の取組	・・・P16
取組の推進に当たって留意すること	・・・P21

第5章 戦略の推進に当たって

戦略の推進に当たって	・・・P24
------------	--------

戦略の構成 別冊にて、施策集と用語集を作成予定

- ▶ 本編：D X 推進による目指す姿、取組概要（本資料）
- ▶ 施策集：具体的な取組
- ▶ 用語集

策定趣旨・ねらい

県民や事業者の視点で、
大きな可能性を持つデジタルを効果的に活用して、
本県を取り巻く環境の変化や課題に対応するとともに、
行政サービスをはじめ、あらゆる分野でより良い変革を起こし、

- ▶ **安全・安心で便利な千葉の暮らしをつくる**
- ▶ **個性と能力を十分に発揮できる環境をつくる**
- ▶ **千葉らしさを伸ばし、地域に活力を生み出す** ことを、ねらいとします。

本戦略は、県だけでなく、市町村や民間団体など**様々な主体がともにDXの推進に取り組んでいく**ため、
目指す姿とその具体像、実現に向けた取組を共有するものです。

DX (デジタル・トランスフォーメーション)

デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、
新たなビジネスモデルの開発を通して、
社会制度や組織文化なども変革していくような取組

出典：総務省「情報通信白書令和3年版」

D digital
デジタルを
手段の一つとして

行政サービス、
組織・制度、文化・風土を

X transformation
変革する

※transは「交差する」の意味がある
ことからXで略される。

位置付け

▶ 本県のDXのビジョン

本県がDXの推進により目指す姿

▶ 「県政運営を貫く3本の矢」の一つとして総合計画を支える

総合計画の施策横断的な視点「県政運営を貫く3本の矢」の一つに、「くらしを豊かにするデジタル技術の効果的な活用」を掲げている。

▶ 本県における都道府県官民データ活用推進計画

官民データ活用推進基本法に基づく「官民データ活用推進計画」（法定計画）

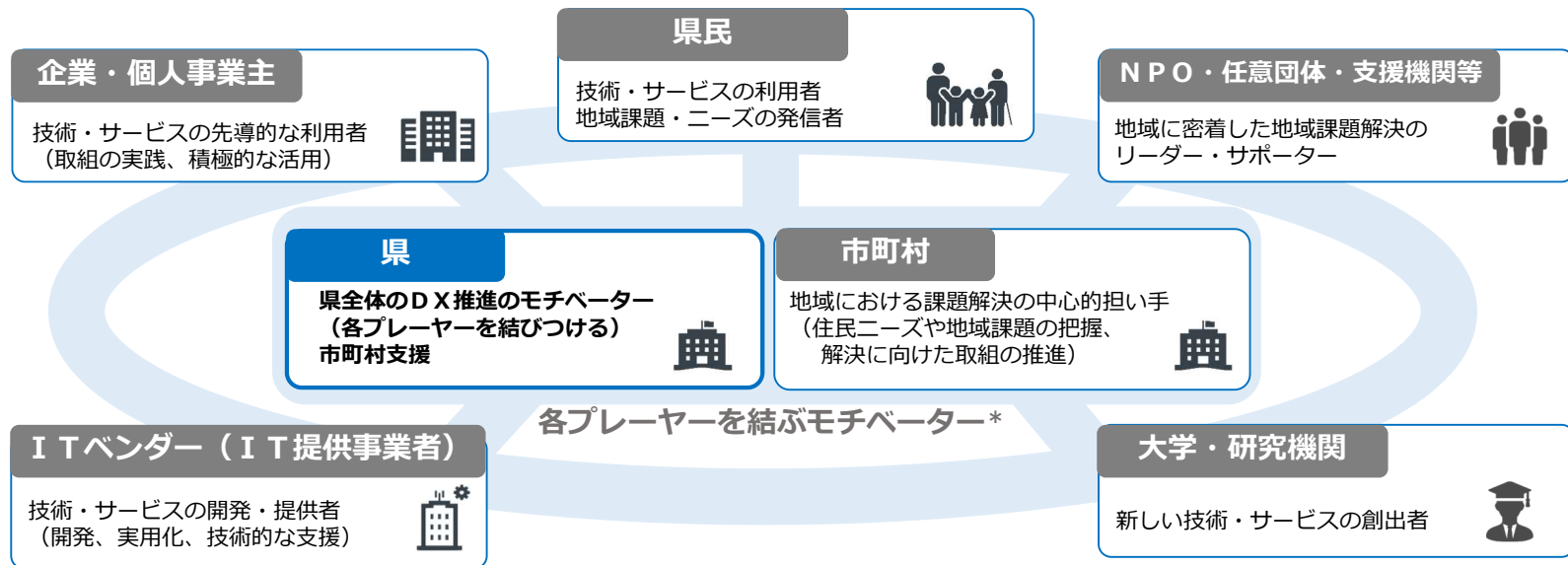
戦略期間

終期の設定は行わず、随時更新していく「成長する戦略」

- 近年の社会情勢の変化や技術革新のスピードは著しく、数年の間に大きく変化することが予測されます。
- そのため、本戦略は、本県におけるデジタル化の進展や環境の変化に柔軟に対応していくため、その時の情勢を反映した戦略に適宜変化させていくこととします。

本戦略を共有する主体（プレイヤー）

行政だけではなく、企業・団体、県民等と本戦略を共有し、各々の立場で相互に協力して、地域課題の解決や新たなサービスの創出を図ることで、誰一人取り残されることなく、誰もがデジタル活用の利便性を享受するとともに、担い手となり、心豊かに暮らせる社会や、魅力の向上や経済の活性化など活力ある地域社会の実現に向けて取り組みます。



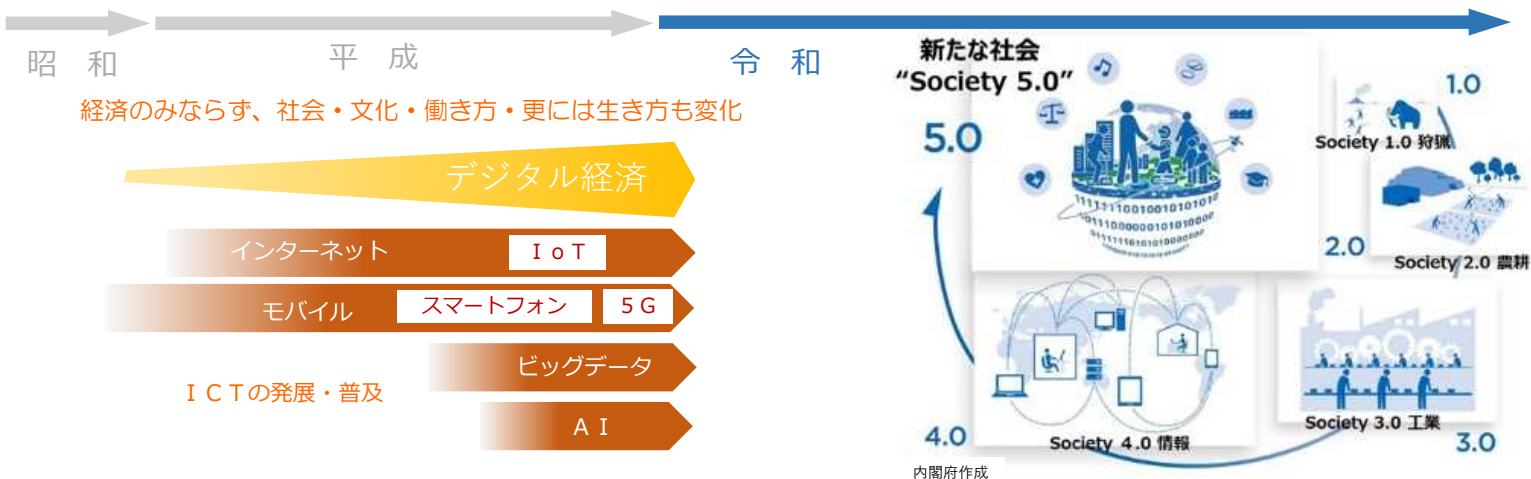
*モチベーター：やる気を引き出す、行動を促す人。

デジタルの浸透と新たな社会「Society 5.0」

■ デジタルは、日常生活に大きく浸透。新たな社会「Society5.0」が提唱。

【デジタルの浸透のイメージ】

出典：総務省「情報通信白書令和元年版」を元に一部改変

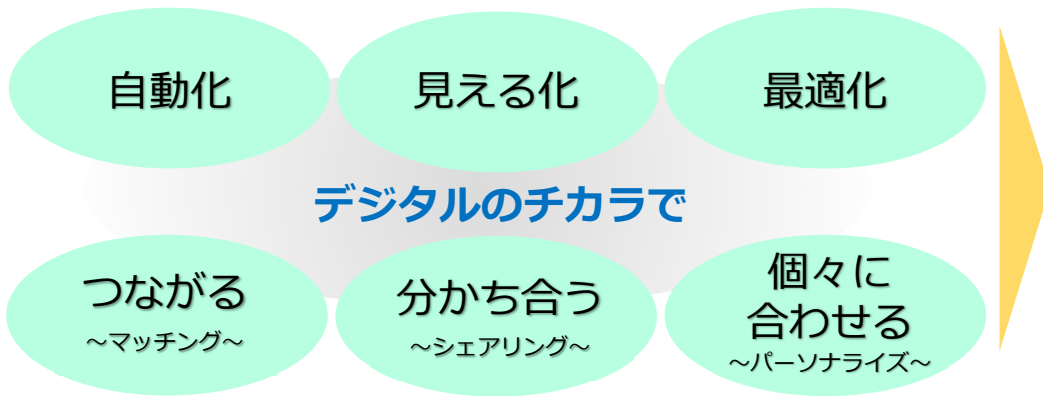


Society5.0

- サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。我が国が目指すべき未来社会として提唱。
- IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出す。

デジタルの可能性

■ デジタルには、様々な可能性がある



- 可能性が広がる
- 多様なニーズに対応
- 新たなサービス・ビジネスや価値を創出
- 必要なサービスが必要な時に

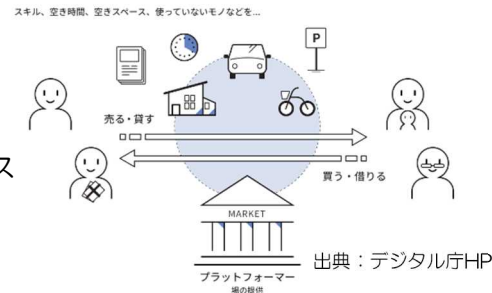
など

~~~社会のデジタル化の進展に伴い、拡大している取組（マッチング・シェアリングなど）~~~

### シェアリングエコノミー

- 個人や企業等の間で活用可能な資産（場所・モノ・スキル等）をシェア（売買・貸し借り等）することで生まれる新しい経済の形
- インターネットを介することで幅広い利用者やニーズを集めることができ、新たな価値・サービスの創出や地域課題の解決にもつながる

（例）場所… 民泊  
 モノ… フリマアプリ  
 スキル… 家事代行 など



## 本県を取り巻く環境の変化と課題

## ■ 様々な環境の変化等に対して、デジタルを効果的に活用していくことが必要

## 総合計画で掲げる「環境の変化と課題」

感染症・災害等リスクの増大への対応

くらしの安全・安心の確保

人口減少・少子高齢化への対応

社会経済情勢の変化への対応

半島性の克服と活用

医療・福祉ニーズの増加と健康志向の高まりへの対応

環境保全・持続可能な社会づくり

価値観・ライフスタイルの多様化への対応

デジタル社会の推進

SDGsの推進

行財政改革の推進

## SDGs

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。  
17のゴール・169のターゲットで構成され、  
地球上の「誰一人取り残さない」ことを  
誓っている。





## 国のデジタル政策

### デジタル田園都市国家構想 (R4.6.7 基本方針決定)

- ・官と民とが協働して成長と分配の好循環を生み出しつつ経済成長を図る「新しい資本主義」の重要な柱の一つ。  
(デジタル技術の実装を通じた地域の活性化)

#### 【目指す姿】

全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会

- ▶ デジタルの力を活用した地方の社会課題解決
  - ①地方に仕事をつくる
  - ②人の流れをつくる
  - ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - ④魅力的な地域をつくる
  - ⑤地域の特色を活かした分野横断的な支援
- ▶ ハード・ソフトのデジタル基盤整備
- ▶ デジタル人材の育成・確保
- ▶ 誰一人取り残されないための取組

### デジタル社会の実現に向けた重点計画 (R3.12.25 決定 R4. 6. 7改訂)

- ・デジタル社会の形成のために政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策等を定めるもの。

#### 【目指す姿】

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会

- ▶ デジタル社会の実現に向けての理念  
誰一人取り残されないデジタル社会の実現  
→ 誰もが、いつでも、どこでもデジタルの恩恵を享受
- ▶ デジタル社会の実現に向けた基本的な施策
  - ・国民に対する行政サービスのデジタル化
  - ・暮らしのデジタル化
  - ・産業のデジタル化
  - ・デジタル社会を支えるシステム・技術
  - ・デジタル社会のライフスタイル・人材

### 自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画

(R2.12.25 総務省策定 R4.9.2改訂)

- ・自治体のDX推進において、各自治体が重点的に取り組むべき事項・内容をまとめたもの

## DX推進により目指す姿

## 〔目指す姿〕

## デジタルのチカラで創る 県民の心豊かな暮らしと 活力ある千葉

デジタルの持つ大きな可能性を生かすとともに、誰もがその恩恵を享受することで、

- ▶ 個人：一人ひとりの可能性が広がり、県民が個性と能力を発揮し、思いを実現
- ▶ 社会：変革を通じた新しいサービスや価値の創造により、地域や産業が活性化

県民の心豊かな暮らし

活力ある千葉

あらゆる人が  
暮らしやすい社会誰もがどこでも  
能力を発揮できる社会地域経済が  
活性化している社会スマート自治体  
が実現した社会

## D X推進により目指す姿の具体像

D X推進により目指す姿「デジタルのチカラで創る 県民の心豊かな暮らしと 活力ある千葉」について、以下の4つの分野における目指す姿の具体像（概ね10年後をイメージしたもの）

### 【暮らし】

あらゆる人が  
暮らしやすい社会

### 【産業】

地域経済が  
活性化している社会

### 【仕事・生きがい】

誰もがどこでも能力を  
発揮できる社会

### 【行政】

スマート自治体の実現した社会

## DX推進により目指す姿の具体像

## 【暮らし】あらゆる人が暮らしやすい社会

## 危機管理

データやシステムを活用した被害の予測、危機発生時の迅速・的確な状況把握による被災者・患者支援の迅速化及びスムーズな情報共有による行政・県民・民間など多様な主体の連携強化などにより、県全体の危機管理能力が向上し、大規模災害や新たな感染症に対し、県民の生命が確実に守られる体制が構築されている。

## 安全・安心

デジタル技術の活用により、地域に密着した防犯・交通安全等の必要な情報を県民がタイムリーに知ることができ、県民一人ひとりの自主防犯や交通安全等の意識が向上するとともに、犯罪や交通事故などが起こりにくい環境が充実し、安全で安心な生活環境が実現している。

## 医療・福祉

医療・福祉に関するデジタル技術を用いた情報共有等や現場における業務効率化などにより、質の高い医療や福祉サービスが受けられ、誰もが健康で安心して暮らせるとともに、高齢者や障害のある人が、一人ひとりに合ったサービスを選択して、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる環境が実現している。

## DX推進により目指す姿の具体像

## 【暮らし】あらゆる人が暮らしやすい社会

## 子育て

子どもに関する悩みなどを抱え込まないよう、スマートフォン等で簡単に必要な情報の受取や相談、コミュニティへの参加ができるなど、個々の状況に合ったサービスを受けられることで、希望どおりに妊娠・出産・子育てをできる環境が充実するとともに、全ての子どもが健やかに成長できる、明るい未来が広がっている。

## 社会資本・まちづくり

道路・河川等の社会資本の整備及び効率的かつ適切な維持管理により長寿命化が進むとともに、多様な交通サービスの連携等により誰もが快適に移動できる交通・生活環境が実現し、安全・安心かつ快適に暮らすことができる、時代の変化に対応し、全体最適化が図られる持続可能なまちづくりが進んでいる。

## 環境保全

デジタル技術を活用した効率的な環境モニタリングや廃棄物の適正処理・再資源化などが進むことにより、自然豊かな生活環境が保全され、持続可能な循環型社会が構築されている。

## DX推進により目指す姿の具体像

## 【仕事・生きがい】誰もがどこでも能力を発揮できる社会

## 働き方

テレワーク、ワーケーションなど、ライフスタイルに合わせて働く場所や時間を自由に選択できる働き方が広がり、多様な人々が活躍できるとともに、首都圏にありながら、海をはじめとした豊かな自然に囲まれた千葉で暮らすことの価値が高まっている。

## 社会参画

デジタル化の恩恵をあらゆる人が享受でき、一人ひとりが違った個性や能力を発揮し、自分らしく生きていくことができる社会づくりが進み、誰もが社会に参画し、社会全体の活力が向上している。

## 学習機会

現代の大きな社会的変化の中で、誰もが時間と場所を選ばず学びたいときに学べ、知識を習得できる生涯学習社会が実現している。また、学校でも全ての子どもたちが個々の理解度に合った学びの機会に触れ、自らの可能性を最大限に発揮できる充実した教育環境が実現している。

## 文化芸術・スポーツ

デジタル技術も活用して、自己表現の場が広がり、能力の発揮や社会参加が促進されるとともに、あらゆる人々が、より気軽に、より身近に文化芸術・スポーツに親しめる環境が整備されている。

## DX推進により目指す姿の具体像

## 【産業】地域経済が活性化している社会

## 産業振興・中小企業

新たな技術やアイデアを生かしたイノベーションが進み、活発な起業・創業や新事業への挑戦を通じた新産業の創出が盛んになるとともに、デジタル化など環境変化に的確に対応した中小企業の経営基盤の強化が図られ、本県経済が活性化している。

## 農林水産業

生産者の省力化やノウハウ等の見える化、生産・出荷管理の最適化、効率化等が進み、全国屈指の千葉の農林水産業が更に発展し、魅力ある職業として選ばれる力強い産業に育っている。

## 建設産業

労働人口の減少などの環境変化に的確に対応した、安全かつ生産性の高い建設現場等の環境が充実し、県民の安全・安心な生活を下支えする建設産業において、持続的な発展が実現している。

## DX推進により目指す姿の具体像

## 【産業】地域経済が活性化している社会

## 観光

観光客が、その人の言語やニーズに合った情報をストレスなくスムーズに入手でき、今まで知らなかった魅力にも触れることができるとともに、観光事業者間の連携により新たな魅力が創出され、誰もが何度でも訪れたいくなる観光地づくりが進み、千葉に多くの観光客が訪れている。

## 物流・交通網

社会インフラの整備や混雑情報などの利活用により、成田空港や港湾、鉄道・道路網など、充実した物流・交通インフラという千葉の強みが最大限活用されることで、人やモノの流れが活発になっている。

## カーボンニュートラル

デジタル化による効率的なエネルギー利用が進むとともに、エネルギー消費量の可視化等により需給バランスが管理され、エネルギー利用の最適化が図られるなど、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組が着実に進んでいる。



## DX推進により目指す姿の具体像

## 【行政】スマート自治体の実現した社会

## 行政サービス

県や市町村等の行政サービスについて、自分に合った情報を漏れなく入手して、簡単に使えることで、行政手続きにかかる時間が最小化されるとともに、いつでもどこでも、それぞれのニーズに合ったきめ細かい行政サービスを受けられる環境が実現している。

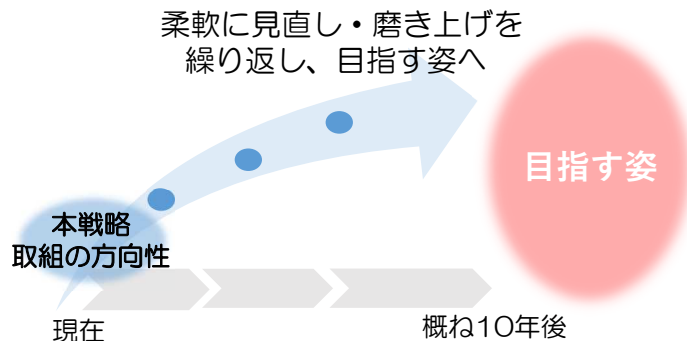
## データ利活用

行政をはじめとした産学官民の保有するデータが分野横断的に共有され、効果的に利活用される環境が整い、県内で新たな付加価値やイノベーションが豊富に創出される社会が実現している。

## 取組の方向性

目指す姿の実現に向けて、当面は次のことに注力します。

- ▶ 目指す姿に向けて一体となって取り組むため  
DXの理念、考えの浸透
- ▶ デジタルの活用による利便性を実感するため  
各分野におけるデジタル技術の実装を加速化
- ▶ 県民サービスの向上と行政運営の効率化のため  
行政におけるDXを強かに推進



## 取組の体系

県がまず今後取り組む項目の体系

### 『暮らし』のDX

- ① 危機管理
- ② 安全・安心
- ③ 医療・福祉
- ④ 子育て
- ⑤ 社会資本・まちづくり
- ⑥ 環境保全

### 『仕事・生きがい』のDX

- ① 働き方
- ② 社会参画
- ③ 学習機会
- ④ 文化芸術・スポーツ

### 『産業』のDX

- ① 産業振興・中小企業
- ② 農林水産業
- ③ 建設産業
- ④ 観光
- ⑤ 物流・交通網
- ⑥ カーボンニュートラル

### 『行政』のDX

- ① 行政サービス
- ② データ利活用

### 推進を支える土台づくり

- ①意識の醸成・人材育成
- ②共創の機会の創出
- ③デジタル技術の活用の環境整備

※具体的な取組内容や指標・数値目標は、別冊に掲載

## 実現に向けた県の取組（主な取組）

### 『暮らし』のDX

#### ① 危機管理

- ・AI等を活用した防災・危機管理対策の一層の強化
- ・防災分野における情報連携・マッチング促進
- ・感染症などの健康危機や災害への対応力強化
- ・災害危険性や被災状況の迅速な検知・情報発信と災害時の早期復旧

#### ② 安心・安全

- ・データとデジタル技術を駆使した防犯・交通安全施策
- ・防犯・交通安全等タイムリーな情報提供の推進
- ・SNS等の多様な相談チャネルの推進
- ・デジタル技術を活用した消費者教育の推進

#### ③ 医療・福祉

- ・健康・福祉・医療情報の共有とデータ利活用
- ・デジタル技術を活用した医療・福祉現場の業務効率化
- ・デジタル技術を活用した救急医療体制の強化
- ・オンライン診療の導入と普及促進

#### ④ 子育て

- ・プッシュ型子育て支援やコミュニティ形成の促進
- ・児童相談所や児童養護施設等におけるデジタル化の推進

#### ⑤ 社会資本・まちづくり

- ・インフラの整備、維持管理の高度化・効率化
- ・データ活用等による時代に即したまちづくり
- ・デジタル技術を活用した公共事業への理解促進
- ・シェア交通等新たなモビリティサービス導入の促進

#### ⑥ 環境保全

- ・デジタル技術を活用した環境モニタリング
- ・ICTを活用した廃棄物の適正処理の推進
- ・ICTを活用した有害鳥獣対策

## 実現に向けた県の取組（主な取組）

### 『仕事・生きがい』のDX

#### ① 働き方

- 多様な働き方の推進
- 地域の仕事や人材のマッチング促進
- デジタルプロモーションによる魅力発信と移住・二地域居住の促進
- ワークেশョンの促進【再掲】

#### ② 社会参画

- 高齢者や障害のある人などへのIT支援
- 子どもの障害に応じたICT活用の推進【再掲】
- ICTを活用した県民活動への理解や参加の促進・定着

#### ③ 学習機会

- ICTの活用による子どもの学習活動の充実と情報活用能力の育成
- 学校教育の情報化に向けた推進体制の整備
- 子どもの障害に応じたICT活用の推進
- 図書館サービスの利便性向上
- ICTを活用した生涯学習の推進
- IT分野のリカレント教育と職業訓練の推進

#### ④ 文化芸術・スポーツ

- デジタル技術を活用した文化振興
- バーチャルスポーツの普及促進やデジタル技術を活用した競技支援

## 実現に向けた県の取組（主な取組）

## 『産業』のDX

## ① 産業振興・中小企業

- ・デジタルを活用した意欲的な取組の促進  
（起業・創業、新事業創出、多様な主体による連携の促進）
- ・中小企業におけるDX推進
- ・デジタル人材の育成

## ② 農林水産業

- ・スマート農業・林業・水産業の推進による生産力の強化
- ・次世代農林水産業に対応した先導的研究の推進

## ③ 建設産業

- ・建設現場等の生産性・安全性向上と働き方改革

## ④ 観光

- ・観光分野におけるDXの推進  
（多言語コミュニケーションツールの利用促進・観光マーケティング等に係る調査・分析の高度化とデータ活用・ワーケーションの促進）
- ・デジタルプロモーションによる魅力発信と移住・二地域居住の促進【再掲】

## ⑤ 物流・交通網

- ・デジタル技術を活用した成田空港の東アジア物流拠点化の推進
- ・ICTによる交通マネジメント
- ・インフラの整備、維持管理の高度化・効率化【再掲】
- ・地域の特性に応じた戦略的な企業誘致の推進

## ⑥ カーボンニュートラル

- ・再生可能エネルギー設備等の導入促進
- ・デジタル技術を活用した電力供給・需要の最適化の推進  
（スマートグリッド）
- ・カーボンニュートラルの実現に向けた企業振興

## 実現に向けた県の取組（主な取組）

## 『行政』のDX

## ① 行政サービス

- ・ 県民・事業者本位の行政手続オンライン化の推進
- ・ マイナンバーカードの普及・活用
- ・ 公金収納のキャッシュレス決済の推進
- ・ 行政内部のデジタル改革  
（ペーパーレス化・BPR・ICTツール活用・テレワークやオフィス改革の推進、自治体情報システムの標準化・共通化）
- ・ 行政におけるデジタル人材の確保・育成
- ・ 県による市町村DXの支援

## ② データ利活用

- ・ 分野横断的なデータ連携の推進
- ・ オープンデータ・ビッグデータの利活用の促進
- ・ 行政内部におけるデータ活用の推進

## 推進を支える土台づくり

## ① 意識の醸成・人材育成

- ・ DXに係る県民参加型イベントの実施
- ・ 基本的な知識やスキルの向上促進
- ・ 様々な分野におけるデジタル人材の確保・育成

## ② 共創の機会の創出

- ・ 各プレイヤーの交流・マッチングの促進
- ・ 民間と行政の連携
- ・ シビックテックや県民参加型行政の促進

## ③ DX推進のための環境整備

- ・ 通信環境の整備促進
- ・ 情報セキュリティ対策の着実な実施

## 取組の推進に当たって留意すること

本戦略の推進に当たって、各プレイヤーが共通して留意すべき事項

### (1) 「人」が主役のDXの推進

#### ア デジタルで、「人」の可能性を広げる

誰でもデジタルを活用できる環境を整備することで、県民一人ひとりが個性と能力を発揮し、誰もが可能性を広げられるよう取り組む。

#### イ 利用者視点のデザイン思考

デジタル機器等に不慣れな人にも分かりやすく、使いたくなるサービスを設計するなど、利用者の視点に立って、デジタルサービスを提供する。

#### ウ デジタルで「支える人を支える」（医療・介護関係者、教育関係者、等）

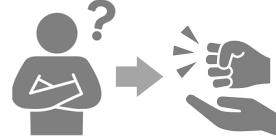
「支える人」がもっと「支えられる人」に向き合えるよう、「支える人」の業務について、デジタル技術による効率化などに取り組む。

### (2) 「共に」進めるDXの推進

#### ア 様々な実施主体（プレイヤー）が共に取り組んでいく

県、市町村や民間団体など様々な実施主体（プレイヤー）で、目指す姿を共有する。

各々の役割・強みを生かし、幅広い分野で連携・共創するとともに、それぞれが主体的な取組を進める。<sup>21</sup>



## 取組の推進に当たって留意すること

### (3) 実効性の確保

#### ア スモールスタートでも実践を重ねる

- ・効果を得やすいものから順次デジタル技術の活用を実践し、試行錯誤しながら徐々に取組を拡大する。
- ・特に行政においては、独自にデジタルサービスを設計するよりも、まず、既に浸透したサービスを活用することが、県民や事業者にとって利便性が高いものとなるケースが多いことを念頭に、民間事業者等のサービスの活用などを積極的に検討する。



#### イ デジタルは「手段」であって、「目的」ではない

- ・デジタル技術の導入自体を目的としない。何を実現したいかが重要。
- ・デジタル技術は、業務プロセスを変革する手段となることから、既存の仕組みのままではなく、デジタル技術に合わせて変革することも検討する。

### (4) 個人情報の保護と情報セキュリティの確保

- ・多様で大量のデータの利活用が進む中、個人情報の保護と情報セキュリティの確保は、DX推進と両輪で取り組むことが必要。
- ・適切な対応によりデジタルに対する不安を低減し、トラスト（信頼）が確保された安全・安心な環境の中でDXを更に広げる。





## 参考 DXの考え方

- 「デジタル化」の段階は、以下のとおり示すことができ、DXとは、単にアナログをデジタルにそのまま置き換えるだけでなく、新たな価値の創出や組織の変革などを旨とする概念と言えます。
- ただし、各分野におけるデジタル化の現状はそれぞれ異なるため、スモールスタートでまずできるところからでも少しずつ取組を始めること、つまり、以下のデジタイゼーションやデジタライゼーション含め、DXにつながるあらゆるデジタル化を推進していくことが重要です。



(例)

|      |             |          |                               |                               |
|------|-------------|----------|-------------------------------|-------------------------------|
| 写真   | フィルムカメラ     | デジタルカメラ  | デジカメ等で撮影した写真をメール等で送受信         | 世界中と写真データをSNS等のオンライン上で日常的にシェア |
| 行政手続 | 紙による対面等での申請 | メールによる申請 | オンラインシステム等による申請(受付後の処理もデジタル化) | 申請することなく必要なサービスをプッシュ型で受けられる   |

## 戦略の推進に当たって

知事をトップとした全庁的な推進体制のもと、様々な有識者や関係者と連携しながら、本戦略を着実に推進していきます。

また、毎年度の進捗管理により、有識者等の助言も踏まえて取組の改善や加速化を図るとともに、デジタル技術の進化や社会的な実装状況などのDXを取り巻く環境変化に弾力的に対応するため、必要に応じて柔軟に本戦略のブラッシュアップを行います。

